



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社 大泉製作所
コード番号 6618 URL <http://www.ohizumi-mfg.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐分 淑樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鶴本 貴士

TEL 04-2953-9212

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,232	4.1	332	28.7	447	11.0	181	33.8
2022年3月期第3四半期	8,869	17.7	466	646.8	402	859.7	274	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 188百万円 (50.2%) 2022年3月期第3四半期 379百万円 (193.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	20.17	
2022年3月期第3四半期	32.64	32.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	12,423	4,398	35.4	475.06
2022年3月期	11,349	3,477	30.6	409.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,398百万円 2022年3月期 3,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		8.00	8.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	1.0	350	41.6	445	17.1	180	57.9	19.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	9,258,968 株	2022年3月期	8,488,968 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	178 株	2022年3月期	178 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	9,015,190 株	2022年3月期3Q	8,410,265 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積もりの変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、半導体不足に伴う車両メーカーの生産調整や中国のロックダウン、断続的な行動制限の影響が継続しました。この影響で自動車部品事業は前年同期比で減収となりました。一方で、空調・カスタム部品事業においては旺盛な市場需要もあり好調を維持していましたが、直近においては中国市況悪化の影響が顕在化しつつあります。なお、当社の事業分野の広範囲において、原材料やエネルギー価格の高騰という減益への影響が継続しています。

この結果、当社グループの売上高は9,232百万円（前年同期比4.1%増）と微増となりました。営業利益は、材料価格やエネルギー費用の高騰や成長投資の推進によるコスト負担増の影響が大きく332百万円（前年同期比28.7%減）となりました。経常利益は円安による為替差益の計上があり447百万円（前年同期比11.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は公開買付関連費用の計上があり181百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

主な用途別売上高は、次のとおりです。

(自動車部品事業)

電動化領域においては、北米向け・欧州向けが半導体問題による影響を受け減収となりましたが、国内向け・ASEAN向けが微増となりました（前年同期比0.1%増）。一方、既存品については、ASEAN向け・欧州向けが好調に推移したものの国内向け・北米向けなどで減収となりました（前年同期比3.4%減）。

この結果、事業全体では前年同期比2.7%減となりました。

(空調・カスタム部品事業)

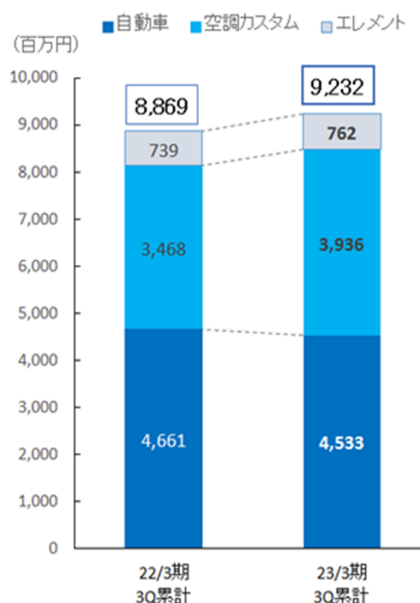
空調関係においては、ASEAN向け・北米向けを中心に個人消費者向け販売が増加したことや、欧州における環境保全を目的としたヒートポンプ需要が増加したことで増収となりました（前年同期比14.1%増）。また、カスタム関係では、工作機市場の好調が持続したことにより増収となりました（前年同期比11.1%増）。

この結果、事業全体では前年同期比13.5%増となりました。

(エレメント部品事業)

既存品については自動車用、家電用、産業機械用の各領域で顧客の在庫調整等により減収となりました（前年同期比16.6%減）。一方、光通信用はFTTx需要の増加により増収となりました（前年同期比32.2%増）。

この結果、事業全体では前年同期比3.1%増となりました。



事業	前年同期比 (百万円)	増減率
全体	+ 363	+4.1%
自動車	▲128	▲2.7%
空調 カスタム	+ 468	+ 13.5%
エレメント	+ 23	+3.1%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産 12,423百万円 (前連結会計年度末比 1,074百万円増加)

第1四半期に実行した第三者割当増資による現預金、売上債権及び棚卸資産が増加したことにより、流動資産が前連結会計年度末に比べて1,101百万円増加しました。一方、無形固定資産及び繰延税金資産が減少したことにより、固定資産は前連結会計年度末に比べて27百万円減少しました。

② 負債 8,024百万円 (前連結会計年度末比 153百万円増加)

長期借入金の流動負債への振替え等により流動負債が前連結会計年度末に比べて2,296百万円増加しました。一方、固定負債は長期借入金の流動負債への振替え等により前連結会計年度末に比べて2,143百万円減少しました。

③ 純資産 4,398百万円 (前連結会計年度末比 920百万円増加)

配当金の支払いにより67百万円減少しました。一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益181百万円の計上及び第三者割当増資800百万円により増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえて、2022年5月13日付「2022年3月期 決算短信[日本基準](連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日(2023年2月10日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,738,010	2,310,890
受取手形及び売掛金(純額)	2,678,319	2,785,520
商品及び製品	1,189,835	1,163,524
仕掛品	804,289	1,104,508
原材料及び貯蔵品	1,075,763	1,212,150
その他	202,889	214,263
流動資産合計	7,689,108	8,790,858
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	745,663	772,623
その他(純額)	2,333,161	2,332,936
有形固定資産合計	3,078,825	3,105,559
無形固定資産	132,465	117,727
投資その他の資産	449,010	409,329
固定資産合計	3,660,300	3,632,617
資産合計	11,349,408	12,423,476
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	691,810	665,054
短期借入金	1,235,600	1,538,000
1年内返済予定の長期借入金	398,512	2,188,992
未払法人税等	180,187	164,887
その他	1,442,089	1,687,442
流動負債合計	3,948,200	6,244,376
固定負債		
長期借入金	2,417,208	329,014
退職給付に係る負債	611,560	573,527
資産除去債務	64,321	65,528
その他	830,597	812,535
固定負債合計	3,923,688	1,780,605
負債合計	7,871,888	8,024,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,365	1,480,380
資本剰余金	550,790	950,805
利益剰余金	1,111,548	1,225,438
自己株式	△73	△73
株主資本合計	2,742,630	3,656,550
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	783,174	769,005
退職給付に係る調整累計額	△48,284	△27,062
その他の包括利益累計額合計	734,889	741,943
純資産合計	3,477,520	4,398,494
負債純資産合計	11,349,408	12,423,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,869,338	9,232,924
売上原価	7,014,281	7,382,944
売上総利益	1,855,056	1,849,980
販売費及び一般管理費	1,388,767	1,517,569
営業利益	466,289	332,410
営業外収益		
受取利息	1,283	7,131
受取配当金	49	49
助成金収入	37,356	16,435
為替差益	—	124,479
業務受託料	—	28,593
その他	2,966	34,499
営業外収益合計	41,655	211,187
営業外費用		
支払利息	57,461	69,475
支払手数料	1,000	1,000
為替差損	34,916	—
株式交付費	—	25,121
その他	11,684	831
営業外費用合計	105,062	96,428
経常利益	402,882	447,169
特別利益		
固定資産売却益	—	1,895
特別利益合計	—	1,895
特別損失		
固定資産除却損	2,459	4,802
公開買付関連費用	—	76,420
特別損失合計	2,459	81,223
税金等調整前四半期純利益	400,422	367,841
法人税、住民税及び事業税	120,147	152,268
法人税等調整額	5,792	33,773
法人税等合計	125,940	186,041
四半期純利益	274,482	181,800
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,482	181,800

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	274,482	181,800
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	85,406	△14,168
退職給付に係る調整額	19,358	21,222
その他の包括利益合計	104,765	7,054
四半期包括利益	379,248	188,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,248	188,854
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月27日付で、㈱フェローテックホールディングスから第三者割当増資の払込みを受けました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が400,015千円、資本準備金が400,015千円増加し、

当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,480,380千円、資本準備金が950,805千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積もりの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当連結グループは、温度センサ、電子部品等の製造販売及びこれらに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当連結グループは、温度センサ、電子部品等の製造販売及びこれらに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。